

(様式第3号)

令和2年2月17日

議員視察報告書

赤穂市議会

議長 釣 昭彦 様

派遣議員氏名 瓢 敏雄 (印)

下記のとおり、行政視察・講演会等に参加しましたので、報告します。

記

- 1 実施日 令和2年1月31日 (金) (1日間)

- 2 調査市及び主な調査項目 (詳細については別紙のとおり)
静岡県御前崎市 (令和2年1月31日 (金) 13:30~16:00)
項目
 - (1) 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターの運営状況及び建替計画について
 - (2) (仮称) 御前崎リサイクルエネルギープラザに係る対応状況について
 - (3) 議会運営全般について

(別紙詳細)

静岡県御前崎市 (令和 2 年 1 月 31 日 (金) 13:30~15:00)

項目

- (1) 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターの運営状況及び建替計画について
- (2) (仮称) 御前崎リサイクルエネルギープラザに係る対応状況について
- (3) 議会運営全般について

目的

御前崎市と牧之原市の両市は牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターで両市のごみ処理を行っている。

現在、御前崎市において民間の産業廃棄物処理施設の設置計画があり、そのことをめぐって反対派、賛成派の行動がマスコミ等で取り上げられている。

昨年 12 月 8 日には建設の賛否を問う住民投票が行われた。

御前崎市におけるごみ処理の現状を現地で確認し、一連の報道から伝わる情報を整理し、改めて問題の実態を調査する。

視察内容

- (1) 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターの運営状況及び建替計画について

1. 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターの現在

①ごみ焼却処理施設の概要

- ・ 焼却能力 141 t / 24 h (70.5 t / 24 h × 2 基)
- ・ 炉形式 全連続式 (ストーカー式)
- ・ 竣工 平成 4 年 10 月

これまでの大規模工事

- ・ 排ガス高度処理施設整備工事 (平成 12、13 年度) 事業費約 15 億円

②粗大ごみ処理施設

- ・ 破砕能力 25 t / 5 h
- ・ 破砕形式 横型回転式、剪断式
- ・ 選別方式 機械選別方式 (鉄、アルミ、不燃物、可燃物の 4 種類)
- ・ 建設年度 平成 2~平成 3 年度

③最終処分場 (管理型) 焼却灰埋立、現在約 90%埋立完了

- ・ 埋立面積 4,300 m³
- ・ 埋立容量 30,000 m³
- ・ 埋立期間 15 年間
- ・ 遮水方式 短繊維系不織布、合成ゴム系二重シート
- ・ 水処理量 25 m³/日
- ・ 建設年度 平成 8~平成 9 年度

④最終処分場（安定型） ガレキ類埋立、現在約 40%埋立完了

- ・埋立面積 6,031 m³
- ・埋立容量 36,744 m³
- ・廃棄物埋立容量 27,632 m³
- ・建設年度 平成 15 年度

⑤リサイクルセンター

- ・建設面積 1,015.5 m²
- ・処理設備 ペットボトル圧縮梱包設備及び搬入物ヤード
ガラス搬入物ヤード
金物類搬入物ヤード
古紙類（新聞、雑誌）搬入物ヤード
- ・建設年度 平成 10 年度

2. 職員体制（令和元年度）

事務担当職員 6 人、事務嘱託 1 人

業務担当職員 7 人、業務嘱託 14 人（受入及びリサイクル業務）

（焼却は民間に委託 14 人から 15 人が勤務）

3. 運営費用

平成 30 年度決算	組合決算総額	964,613 千円
	うち清掃費	932,661 千円
各種委託費用	収集運搬	56,894 千円
	焼却炉運転	78,300 千円
	焼却灰再生処理	58,399 千円
	飛灰再生処理	29,623 千円
	分別・リサイクル関連	89,962 千円
	焼却炉保守点検	91,260 千円
	最終処分場及び水処理	16,599 千円
施設補修工事費用	ごみ処理施設補修	133,920 千円
	粗大ごみ処理施設補修	72,360 千円
	局部補修工事	8,964 千円

4. 過去の施設維持工事内容（計画による予防保全以外）

燃焼ガス混合用攪拌装置設置（H9 年度）

ガス冷却設備補修工事（H10 年度）

受入供給設備補修工事（H11 年度）

ダイオキシン対策（H12. 13 年度）

電気計装更新工事（H16 年度）

主灰搬出装置改良工事（H17 年度）

5. 建替計画について

御前崎市（旧浜岡町、旧御前崎町）は牧之原市（旧相良町）と広域でごみ処理を行っている。牧之原市（旧榛原町）は吉田町ともごみの処理を行っていて、牧之原市では2つの処理場でごみを処理している。

焼却炉の老朽化対策で平成19年から2市1町（牧之原市、御前崎市、吉田町）で計画を進めている。

（2）（仮称）御前崎リサイクルエネルギープラザに係る対応状況について

民間企業による（仮称）御前崎リサイクルエネルギープラザ建設の計画が平成29年に持ち上がった。

10月に御前崎市の池新田地区への誘致を目的とした「御前崎リサイクルエネルギープラザ推進協議会」が設立された。

12月、建設予定地を所有する団体が民間企業と土地の賃貸借契約を結んだ。

この時期は、市も議会も一時は静観の立場をとったと報道にはある。

年が変わって平成30年9月、建設予定地で環境影響評価が開始される。

このような状況の中で、「経緯が不透明」「合意形成がない」と市内各地で不満が高まり、31年2月16日に市民団体「住民投票で決める会」が発足する。

団体は4月から5月にかけて市民団体が署名活動を行い市内有権者の約44%にあたる1万1,829人の署名を集め、6月に住民投票条例の制定を本請求した。

8月26日に市議会特別委員会が条例案を可決、9月5日の本会議で承認された。

12月8日に実施された住民投票は投票率60.81%で、建設賛成9.80%、建設反対99.20%。

市長は令和2年1月10日、事業者である民間会社の社長に事業撤退を要請する。

会談後の取材で社長は住民理解を最優先課題とし、計画を一時中断すると表明した。

（3）議会運営全般について

特別委員会は、議員全員で組織する、原子力発電に関する事項について調査研究を行う原子力対策特別委員会、総合開発計画策定に関する事項について調査研究を行う総合開発計画策定特別委員会、予算決算に関する審査を行う予算決算審査特別委員会、産業廃棄物処理対策等に関する事項について調査研究を行う産業廃棄物処理対策等調査検討特別委員会と、5人の委員が議会広報に関する調査研究を行う議会広報特別委員会が設置されている。

常任委員会は7人の委員で組織する総務経済委員会（総務部、建設経済部、消防本部、会計課及び監査委員の所管に属する事項）と7人の委員で組織する文教厚生委員会（市民生活部、健康福祉部、教育委員会及び市民病院の所管に属する事項）がある。

議会運営委員会は期数上位順に7人の議員で組織している。

所感

環境保全センターのごみ焼却施設の焼却炉が竣工したのは平成4年10月。赤穂市は平

成 6 年 3 月の竣工で、老朽度という観点からは相通ずる問題があると感じる。

焼却炉の老朽化対策は喫緊の課題である。

事業は広域での取り組み、民間の活用が考えられるし、運営についても公設公営、公設民営、民設民営等が考えられる。

御前崎市の事案は赤穂市でも考えられることである。

施設や運営の将来像、環境等、市民の理解を求めつつ、ごみ処理の問題点を明らかにして、早急に今後の計画を赤穂市も立てていかなければならないと感じた。

視察対応者

議会事務局 池田覚課長補佐

市民生活部環境課 清水正明課長

牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センター 水野浩充所長

牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センター 森田一成総括主任